

## 第2学年1組生活科学学習指導案

日 時 平成16年7月1日(木)

指導者 教 諭 槇 俊二

### 単元 ばく、わたしの生きものをそだてよう

#### 児童の実態

本校校区の南部一体には田畑が広がっており、本学級の児童は、通学路や校庭などでチョウやバッタなどの昆虫などを捕まえた経験がある。また、これまで家族の人と一緒にキンギョやカメ、カブトムシなどの生き物を飼ったことがある児童がほとんどであり、生き物を飼うのは楽しいと考えている。しかし、「自分が時々餌をあげる。」「水槽の掃除はお家の人にする」など、自分で継続して生き物を飼育した経験がある児童は少ない。

#### 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(7)「動植物の飼育・栽培」を中心にした学習である。ここでの学習は、自分たちの身近にいる昆虫や水辺の生き物などと直接触れ合う活動を通して、生き物への親しみを深め、それらを大切にするようにさせていくことをねらいとしている。自分があげた餌を食べる様子を見て喜んだり、生き物の変化や成長の様子に驚いたりしながら、児童は生き物への関心を高め、生き物とのかかわりを深めていくであろう。生き物が元気に育つように、生き物のことを調べたり、自然の中ではどのような状態だったか考えたりしながら世話をしていく中で、生き物が生命をもっていることに気付き、それらを大切にしていこうとする態度を身につけさせることができると考える。

本単元の指導にあたっては、単元の導入で、ダンゴムシと触れ合う体験活動を行い、生き物との出会いの場を作る。生き物に抵抗を感じている子どもにとっても比較的安心して触れ合うことができるダンゴムシとかかわらせ、今まで知らなかったダンゴムシの秘密に気付かせていながら採集や飼育の活動への意欲を高めていきたい。町探検やこれまでの採集の経験をもとに採集の計画を立てさせ、身近な自然に目を向けさせながら採集活動を行わせる。また、採集した生き物を飼育する際には、生き物の変化や成長の様子に対する気付きやお世話したことを交流する掲示板を用意し、情報を交換させたり、飼育への意欲を継続させていきたい。「ひらく」過程では、夏休みになることを知らせ、飼育している自分の生き物をどうするかを考えさせることで、小さな生き物にも生命があることや、生き物へ心を寄せながら世話をしてきた自分に気付かせていきたい。

#### 単元の目標と評価規準

##### 単元の目標

身近な生きものを飼う中で、世話をする喜びを味わったり親しみを感じたりするとともに、それらは自分たちと同じように生命を持っていることに気付き、大切にすることができるようにする。

##### 単元における評価規準

	関心・意欲・態度 関	思考・表現 思	気付き 気
単元	生き物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、親しみをもち、世話をしようとしている。	生き物のことについて調べ、工夫しながら飼育をしたり世話を通してわかったことを絵や文で表現したりすることができる。	生き物変化や成長の様子に気付くとともに、生き物を大切にしながら接することができるようになった自分に気付いている。

<p>学習活動における具体的な評価規準</p>	<p>生き物を探したり，採ったり，育てたりしようとしている。</p> <p>育てている生き物の変化や成長の様子を楽しみにしながら世話を続けようとしている。</p> <p>触ったり，餌をやったりなどして親しく接しようとしている。</p>	<p>どこに，どんな生き物がいそうなのか，どうやって捕まえたらよいのかを考え，採集に行く計画を立てたり，採集したりすることができる。</p> <p>変化や成長の様子に合わせて餌をやったり，自然の中ではどのような状態にあったか調べてすみか作りをしたりなどして，生き物に適切にかかわることができる。</p> <p>世話の工夫や世話をした感じたこと，生き物の様子や成長への期待などを表現することができる。</p>	<p>育てている生き物の成長や変化の様子に気付いている。</p> <p>育てている生き物に合った世話の仕方があることに気付いている。</p> <p>生き物の成長を喜んだり死を悲しんだりすることを通して，小さな生き物も生命をもっていることが分かっている。</p> <p>生き物への親しみが増し，上手に世話ができるようになったことに気付いている。</p>
-------------------------	---	---	---

### 指導計画（全9時間）

過程	時配	学習活動	評価規準	教師の働きかけ
みつけ	1/9	<p><b>【仮説に関わる手だて】</b></p> <p>「ダンゴムシクイズ」をしながらダンゴムシを観察したり，触ったりする。</p> <p>ダンゴムシと触れ合い，気付いたことを出し合う。</p>	<p>関 -</p> <p>気 -</p>	<p>身近でみんなが知っているダンゴムシを用意し，クイズを通して観察させたり，触ったりさせながら，生き物への興味関心を引き出していく。</p> <p>ダンゴムシの動きのおもしろさや，触った感触，体のつくりなどについての気付きやダンゴムシで遊んだ経験などを取り上げ，生き物と触れ合い，いろいろなことを知る楽しさに目を向けさせる。</p>
	2/9	<p>身近にいる生き物を採集したり飼育したりした経験や虫のことについてしていることを出し合う。</p>		<p>「町探検マップ」に子どもから出された生き物の情報を書き込み，自分の生き物を見つけに行きたいという思いをもたせる。</p>
		<p>学習のめあてを知る</p>		<p>生き物を捕って何をしたいのかを考えさせることで，一人一人の子どもたちに採集や飼育の活</p>

め あ て を も つ			動への思いをもたせ、めあてにつなげる。	
	ぼく、わたしの生きものをそだてよう			
た め す		自分のめあてを決める。	関 -	身近な生き物の中から、自分が捕まえ育てたい生き物を考えさせ、採集や飼育活動への思いをもたせる。
		活動の計画を立てる。	思 -	各自のめあてをもとに、採集したい生き物や場所ごとにペアを作る。  生き物の図鑑や教科書を準備しておき、計画を立てる際の参考にさせたり、飼育活動への見通しをもたせたりする。  安全面や衛生面についての注意事項は全体で話し合わせながら確認させる。
	3/9 4/9	生き物を探しに行く。 (いずれかの2カ所) 佐賀大学構内 西川内、高伝寺方面 袋方面の休耕田  採集活動をふり返り、気付いたことや新たにしてみたくなったことを学習カードに書く。	関 -  思 -  気 -	それぞれの子どもめあてを把握しておき、めあてに沿った活動ができているかを見取り、適宜助言したり、一緒に捕まえたりする。  生き物がさわれない子どもには、ペアの友だちと一緒に採集するように助言し、徐々に生き物とのかかわりが深まるように活動を見守る。  学習カードに書かせる前に、気付きを出し合わせ、ふり返る観点を提示する。 ・捕まえ方・見つけた場所・動きの特徴 ・触ったり、捕まえたりしたときの感想など
5/9	捕まえてきた生き物を見せ合い、気付いたことを紹介し合う。 ・全体で ・ペアで	気 - 気 -	生き物についての気付きを新たにわかった「ふしぎ」として取り上げ、認め称賛する。  死んでしまった生き物がいた場合は、どうして死んだのかを考えさせたり、生き物を入れている飼育箱を見比べさせたりし、それぞれの生き物に適した飼育の方法があることに目を向けさせていく。	

		<p>もっと してみたくなくなったことを出し合わせる。</p> <p>自分のめあてを書く。</p>	<p>関 -</p>	<p>子どもたちから出されたことともに、次時からの活動のめあてとして提示する。</p> <p>提示されためあてや前時までの自己評価カードを参考にさせ、自分が何をしたいのか、なぜそれをしたいのかを考えさせていくことで、生き物への思いや次時からの活動の見通しをもたせる。</p>
お こ な う	6/9 7/9 8/9	<p>自分の生き物の飼育をおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すみか作り</li> <li>・餌探し など</li> </ul>	<p>思 -</p> <p>関 -</p> <p>気 -</p> <p>思 -</p>	<p>図鑑や教科書の飼育に関する情報を参考にさせる。</p> <p>飼育の過程で気付いたことや不思議に思ったことを随時掲示するコーナーを用意したり、朝の会等で気付きを紹介する時間を設けたりすることで、飼育活動への意欲の継続を図る。</p> <p>それぞれが育てている生き物を見せ合ったり、工夫したりしていることを交流させ、それぞれの生き物に適した世話の仕方があることに気付かせていく。</p> <p>掲示コーナーや朝の会の気付きの紹介などをもとに、生き物について詳しくなってきたことや世話が上手になってきたことを称賛し、表現したいという思いを湧かせる。</p>
ひ ら く	9/9	<p>夏休みに向けて、今飼育している生き物をどうするかみんなで話し合う。</p>	<p>気 -</p> <p>気 -</p>	<p>継続して飼育する、逃がすなどの意見が予想されるが、なぜそうしたいのかを出し合わせ、生き物に生命があることやそれを大切にすることができた自分に気付かせる。</p>

### 本時の目標

ダンゴムシと触れ合う活動を通して、身近な生き物への関心をもち、採集や飼育の活動に対する自分なりの魅力を見つけ、めあてをもつことができる。 (関心・意欲・態度)

自分が捕まえて飼育したい生き物や探しに行く場所を決め、計画を立てることができる。(思考・表現)

### 指導の視点

この単元で行う飼育活動のよさは、飼育活動を通して、生き物について様々なことに気付いていくことであると考えられる。この気付きが飼育活動への意欲や生き物への親しみにつながっていく。そこで、本時の学習では、いつも見慣れているダンゴムシと触れ合わせ、新たな発見をさせていくことで身近にいる生き物への関心を高め、これからの飼育活動に対する期待感を膨らませて生きたい。

学習活動	教師の働きかけ
<p><b>【活動のよさに触れる体験】</b>                      1. ダンゴムシを見たり，触ったりしながらクイズに答える。</p> <p>ダンゴムシは丸くなるけど、この虫は丸くならないよ。</p> <p>手のひらにのせると何だかすぐったいな。</p> <p>2. ダンゴムシと触れ合った感想や身近にいる生き物と遊んだり飼育したりした思い出などを出し合う。</p>	<p>自分のダンゴムシに似合った名前を付けさせることで，ダンゴムシを観察させ，体や動きの特徴に目を向けさせる。</p> <p>ダンゴムシを実際に観察したり、手にとって触ったりさせながら、クイズに答えさせることで、生き物への関心を高めていく。</p> <p>&lt;ダンゴムシクイズ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目はどこにあるのかな？</li> <li>・足の数は何本？</li> <li>・ダンゴムシではない虫（ワラジムシ）を探そう！</li> <li>・ダンゴムシの迷路</li> </ul> <p>教師が採集し，飼育している身近な生き物を見せながら，これまでの生き物とのかかわりをふり返らせる。</p> <p>子どもの感想や思い出をもとに，生き物と触れ合い，いろいろなことを知る喜びや楽しさに目を向けさせる。</p>
<p>ぼく，わたしの生きものをそだてよう</p>	
<p>3. 育ててみたい生き物やその生き物がいそうな場所を話し合う。</p> <p>4. 自分が育てたい生き物やどうしてその生き物を育てたくなったのかをめあてカードに書く。</p> <p>私は、バッタを育てて、バッタのこと詳しく知りたいな。</p> <p>ぼくは幼虫を捕まえて成虫にしてみたいな。</p> <p>5. グループに分かれて，採集の計画を立てる。</p> <p>ぼくたちは、幼虫を捕まえるから穴を掘る道具がいるなあ。</p> <p>私たちは、ヤゴを捕まえるから西川内の方へ行こう。長靴と網を持って行こう。</p> <p>6. 自分たちの計画を発表する。</p>	<p>町探検で使用した地域マップを提示し，どんなところに自分が育ててみたい生き物がいそうか出し合わせ，採集や飼育への意欲を持たせる。</p> <p>生き物をどうして育ててみたくなったのかを考えさせ，活動への思いや願いをもたせる。</p> <p>&lt; 関心・意欲・態度 &gt;</p> <p>採集や飼育の活動に対する自分なりの魅力を感じ，めあてをもつことができる。</p> <p>A 生き物を育てたい自分なりの理由をもっている。</p> <p>B 自分が育てたい生き物を決めている。</p> <p>話し合いで出された生き物や図鑑などを見せながら対話をし，生き物への関心を引き出しながら，めあてをもたせる。</p> <p>グループごとに計画を立てさせていくことで，次時の活動への見通しをもたせていく。</p> <p>活動範囲の確認や安全面については，全員で確認させる。</p> <p>&lt; 思考・表現 &gt;</p> <p>探しに行く場所を決め，計画を立てることができる。</p> <p>A 生き物がいそうな場所や必要な道具などを具体的に考え見通しをもって計画を立てている。</p> <p>B 友だちの意見を聞きながら計画を立てている。</p> <p>これまでの採集の経験をふり返らせ，採集の活動をイメージさせる。</p> <p>次時の活動への意欲を高める。</p>



### 【学習指導要領「生活」内容7】

動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみを持ち、大切にすることができるようになる。

### 【単元の活動の中にある価値】

- ・身近にいる生き物の存在に気づき、親しみをもって生き物とのかかわることを経験させることは、自分の生活を楽しくさせていくことができる。
- ・身近な生き物への興味・関心は、一人一人異なるが、直接生き物に触れ合う活動をするにより、より親しみをもたせることができる。
- ・命ある生き物と直接関わるにより、生命の尊さやすばらしさを感じさせることができる
- ・今までは、何気なく見ていた身近な生き物との触れ合いを通して、生き物に対する新しい発見があったり、地域の自然を見直したりすることができる。

### 【学習指導要領「生活」内容7 解説要約】

- ・飼育を通して動物と触れ合うようにすることは、生き物への親しみを増し、生き物とのかかわりを深める上で意義がある。
- ・動物を飼う主体的なかかわり合いを通して、身近な動物に興味・関心を持ち、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、動物を大切にすることができるようにすることを目指す。
- ・自分の育てる動物の成長を楽しみにしながら、日々のかかわりを深める。
- ・親しみと期待の目で見つめる。心を寄せながら世話をする。
- ・ただ眺めて観察するだけでなく、手で触ったり、抱いたり、水や餌や肥料をやったりというように親しく接することができるようにすることが大切。
- ・動物との出会いを工夫することも大切。
- ・対象となる生き物は、地域や児童の実態に応じ、児童の身近にあり、継続的に世話をすることができるものの中から、適切なものを取り上げるようにする。
- ・育てる生き物の育つ環境に関心を向けるようにさせる。
- ・飼育の過程において、もっと元気に育ててほしい、もっと上手に育てたいという願いをもつ（そのための手だてが必要）
- ・育てている生き物が自然の中ではどのような状態であったか調べようとしたり、それらが好む環境を作ったりしようとする。
- ・飼育の過程で、育てている生き物の変化や成長の様子に関心をもつ。
- ・その日の様子や成長への期待を話すようになる。
- ・継続的に世話をするのは、変化や成長への関心が基にある。
- ・関心をもって動物に関わる児童からは多くの気づき生まれる。
- ・成長や変化に関する気づき、生命を持っていることへの気づき、自分のかかわり方に対する気づき これらの気づきを取り上げていくことによって、動物への親しみが増し、自分の生活を楽しいものにしていくことができる。
- ・新しい生命の誕生、死への直面は、生命あることをより強く実感させる。
- ・生きていることの尊さやすばらしさ、死への悲しみは、自分の生活を楽しいものにしていく。
- ・育てる楽しさへの目覚めが生活化へとつながる。
- ・思慮分別のあるかかわり方をするようになる。児童なりの動物への適切なかかわり方が生まれてくる。
- ・衛生面、アレルギー、繁殖、施設環境などへの配慮。

【自然や物を使った遊び」の評価規準】

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
生き物やそれらの育つ場所，や成長の様子に関心を持ち，親しんだり大切にしたりしようとしている。	変化工夫して動物を飼ったり育てたりするとともに，世話をしたことや生き物のことなどについて表現することができる。	植物を動物は生命をもっていることや成長していること，動植物の世話の仕方などに気付いている

【自然や物を使った遊び」の評価規準の具体例】

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生き物を探したり，採ったり，育てたりしようとしている。</li> <li>・ 育てている動植物の成長を楽しみにしながら世話を続けようとしている。</li> <li>・ 触ったり，抱いたり，水や餌，肥料をやったりなどして親しく接しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 変化や成長の様子に合わせて水や餌，肥料をやるなど，世話の仕方を考えることができる。</li> <li>・ 自然の中ではどのような状態にあったか調べたり，動植物の好む環境を作ったりなどして，適切にかかわることができる。</li> <li>・ 世話の工夫や世話をした感じ，生き物の様子や成長への期待などを表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育てている動植物の成長や変化の様子に気付いている。</li> <li>・ 育てている動植物に合った世話の仕方があることに気付いている。</li> <li>・ 誕生や成長を喜んだり死を悲しんだりすることを通して，動植物も生命をもっていることが分かっている。</li> <li>・ 生き物への親しみが増し，上手に世話ができるようになったことに気付いている。</li> </ul>

【導入の体験活動のねらい】

- ・ その子の実態に応じた生き物への興味・関心を引き出す。
- ・ 「飼ってみたい」「生き物の不思議をもっと見つけたい」という思いにさせていきたい。

【導入で考えられる活動のよさに触れる体験活動】

生き物と関わる際に持ってほしい観点を